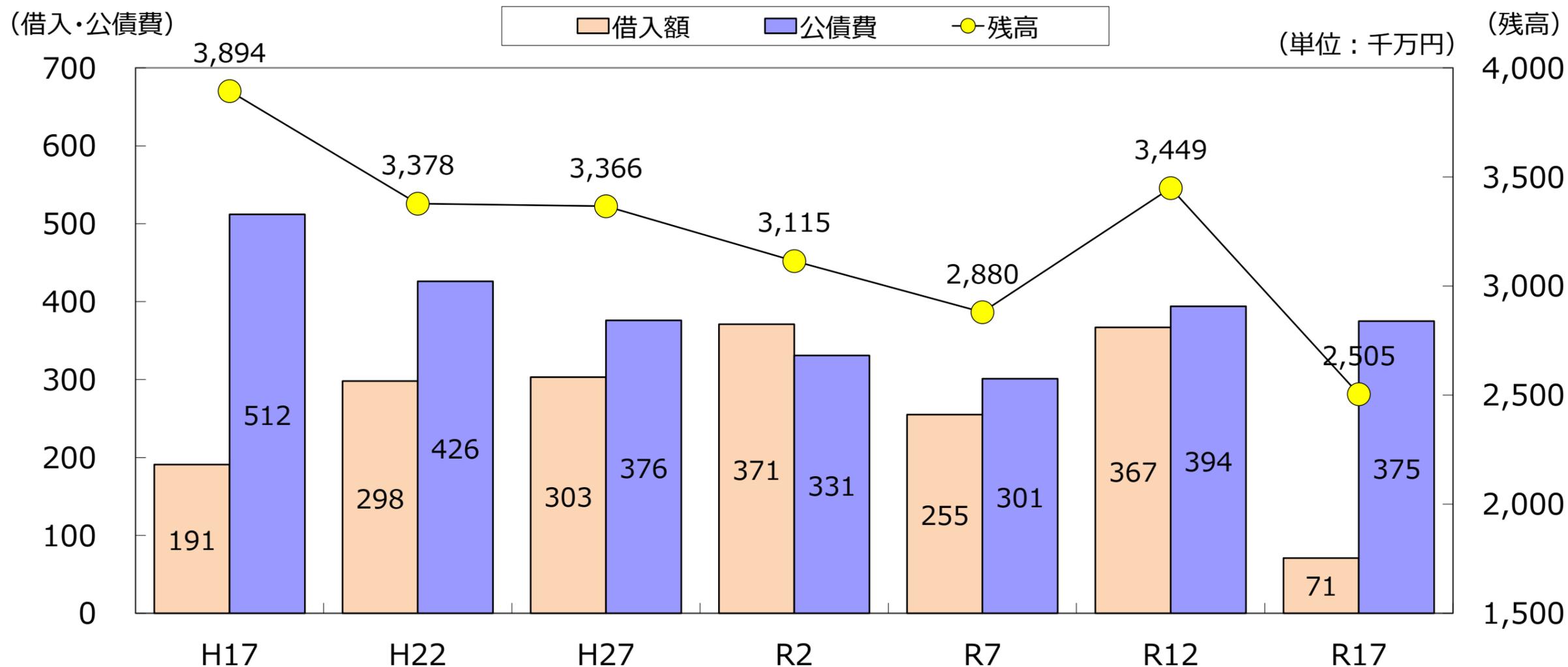


5. 公債費償還の見通し

- ・大田市の地方債残高は令和6年度末で292億円（普通会計）あり、これは、合併をした平成17年度末残高389億円に比べると97億円減少しています。
- ・また、単年度公債費についても以前は42億～51億円といった財政負担でしたが、令和6年度の決算額は29億円にまで減少しています。
- ・今後は新庁舎整備を始めとする大型ハード整備を終える令和12年度には一時的に**地方債残高**は345億円まで増加しますが、その後過去に整備を行った新可燃ごみ処理施設や、ケーブルテレビの光化事業、国民宿舎さんべ荘改修事業などの地方債償還が次々に終了するため、**令和17年度には250億円まで減少します。**
- ・**単年度公債費**についても、市債の発行や償還方法を適切に管理する中で、後年度負担の平準化を図っていくため、**令和17年度頃には緩やかに減少し始めます。**

地方債の推移（普通会計）



R8年2月時点の公債費償還の試算であり、項目・金額は今後変更が生じる可能性があります。